

選定基準別提案内容と事業実績の確認

施設名	座間谷戸山公園
指定管理者名	公益財団法人神奈川県公園協会
指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日
施設所管課	都市公園課（厚木土木事務所 東部センター）

選定基準大項目	評価項目				審査（評価）の視点（C）	提案内容（D）	指定期間 令和4年度の事業実績（E）	所管課による課題分析等（F）	事業実績の確認方法（G）				
	選定基準中項目（A）	小項目（B）	配点	選定時の評価点					実績報告書	現地※	その他		
I サービスの向上	(1) 指定管理業務実施にあたっての考え方、運営方針等	基本姿勢及び管理運営方針	5	4	指定管理業務全般を通じた団体等の総合的な運営方針、考え方	○ 団体等の総合的な運営方針として「安全で快適な利用空間の提供」「より高い公益性の発揮」「効率的・効果的かつ持続可能な管理運営」に取り組む。	・計画通り実施した。	・提案された運営方針に基づき、適切に運営されている。	○		○	・月例業務報告書 ・聞き取り	
					公園固有の価値や特性を踏まえた管理運営方針	○ 公園固有の価値や特性を踏まえた管理運営方針として「未来へとつなぐ、持続可能な里山モデルの展開」を掲げ、「明るく・安全・快適な里山環境の実現、里山体験の充実」「生物多様性を持続させる細やかな管理の実施」「みんなでつくる、より良い公園づくり」「イキイキと暮らせる多様な公園利用の促進」に取り組む。	・ナラ枯れ被害の拡大防止を優先し、東部センターに情報提供するとともに、自らの対策として予防薬剤の樹幹注入を46本実施した。また、危険木の伐採・剪定を100本以上処理した。 ・「野鳥の原っぱ」斜面下に新たにビオトープ池を創出し、生き物の生育環境を拡大させた。 ・「わき水の谷」の汚泥を汲み取り水辺環境を復元させた。 ・新たに座間市内の小学校の給食食材として提供した。 ・健康づくりとして、ノルディックウォーキングを開催した。 ・森林セラピーロード認定に向けた座間市との調整を図り、座間市長にヒアリングを実施した。	・提案された運営方針に基づき、適切に運営されている。 ・今後も、本公園の価値、特性を踏まえた取組により、安全で安心して利用できる公園づくりに努めてもらいたい。	○	○	○	・月例業務報告書 ・聞き取り	
					利用者や地域住民、環境等に配慮した管理運営方針	○ 利用者や地域住民、環境等に配慮した管理運営方針として、「平等な利用の確保」「利用者や地域住民等の声を反映した公園づくりの推進」「環境に配慮した管理運営」に取り組む。	・平等な利用の確保について、計画通り実施した。 ・利用者の声によりログハウスの照明を常時点灯とした ・環境に配慮した管理運営について、計画通り実施した。	・提案された運営方針に基づき、適切に運営されている。 ・今後も、利用者、地域住民の声に耳を傾け、本公園の特性を活かした公園づくり、管理に努めてもらいたい。	○			○	・月例業務報告書 ・聞き取り
					業務の一部を委託する場合の考え方、業務内容等（委託先の選定方法、県内（地域）企業への委託の考え方）	○ 公園の特性を熟知した職員により、できるだけ直営で、きめ細かな維持管理を行うことを基本とし、法令等に基づく業務、専門技術・資格等を要する業務等は、委託することとし、県内企業への発注を優先する。	・業務委託実績報告書のとおり、計画に沿って実施した。	・提案された考え方に基づき、適切に運営されている。 ・今後も直営による維持管理を基本として、委託する場合は県内企業への発注を優先するように努めてもらいたい。	○	○	○	○	・月例業務報告書 ・聞き取り
	(2) 施設の維持管理	都市公園施設及び植物の維持管理業務の実施方針	10	9	公園の特性と課題を踏まえた維持管理の考え方	○ 公園の価値や特性を生かしながら課題などの対策を行い、利用者の安全安心や快適な利用を確保するよう、確実な維持管理を行う。	以下の実績のとおり実施した。	・提案された考え方に基づき、適切に実施されている。	○			○	・月例業務報告書 ・聞き取り
					施設保守点検業務、小破修繕業務等の実施方針	○ 本公園の長寿命化計画を基本に、高頻度な保守点検と修繕を行うことで、予防保全を基本とした施設の長寿命化と安全を最優先とした速やかな維持管理を行う。特に、木製の木道や階段は、劣化しやすいため保守点検には注意を払う。	・日常点検、専門点検等の実施 ・公園協会、各公園でのクロスチェックによる施設点検 ・点検結果や修繕の記録は独自の施設管理台帳に記録 ・優先順位をつけた計画的な維持管理	・提案された方針に基づき、適切に実施されている。 ・計画的な維持管理を行い、特に木道や階段、手すり等の補修について点検補修の頻度が高い。 ・今後も高頻度な保守点検、修繕に努めてもらいたい。	○	○	○	・月例業務報告書 ・聞き取り	
					清掃業務、受付業務、警備業務等の実施方針	○ 樹林地内の園路の清掃を徹底し、特に強風後には注意を払う。利用者の多いトイレ清掃を徹底し利用者が安全・快適に公園を利用し満足いただけるよう清掃するとともに毎日の公園巡回時に簡単な清掃用具セットを携帯するなど臨機応変な清掃を行う。 ○ ホスピタリティ溢れるお客様対応を行うとともに、車いすなどの補助用具やコミュニケーションボード、筆談用具や翻訳機、老眼鏡などを用意し、誰もが使いやすい安心して利用できる取組を行う。 ○ 夜間は警備員を配置し、緊急事態に対する通報や応急対応、応急措置などに備える。また、緊急事態が発生した場合は、予め整備した緊急連絡網により公園職員が参集し対処する。	・利用状況に応じた清掃・落ち葉堆積や苔発生で滑りやすくなった木道、デッキなどの清掃・ガイドラインに基づいた衛生対策の実施・公園巡視時に簡易な清掃用具セットを携帯 ・適切な利用案内と接遇研修の随時実施・筆談用具、翻訳機などを用意したユニバーサルなサービス、丁寧な受付・案内 ・通年夜間、年末年始屋間の巡回警備を実施・地域一体となった防犯の強化、見通しの確保など犯罪が起りにくい環境を維持 ・ホテル観賞時における駐車場対応	・提案された方針に基づき、適切に実施されている。 ・今後も、安全・快適に公園利用してもらえるよう、きめ細やかな対応に努めてもらいたい。	○			○	・月例業務報告書 ・聞き取り
樹林地や草地管理、樹木、芝生、草花などの植物管理業務等の実施方針	○ 公園の大部分を占める樹林地では、「樹林地管理5年計画図」に基づき、生物多様性や安全性に配慮した計画的な植物管理や里山林更新の取組を行う。また、「エリア別植物管理計画図」に基づき、生物多様性の確保や貴重種の保護などに配慮しながら、生物にやさしい植物管理を行う。	・エリア別植物管理計画図に基づいた計画的な植物管理を行った。 ・ナラ枯れ被害の速やかな報告と要因となるカシナガ捕獲のためのトラップ設置、薬剤注入・モミジの苗木育成と植栽・危険木テーマの点検、危険性の高い枯れ枝の除去・ボランティアと連携・協働した動植物のモニタリング調査及び保全活動を実施した。	・提案された方針に基づき、適切に実施されている。 ・とくに神奈川県内で大きな被害が発生している「ナラ枯れ」に対して、伐採や予防薬液注入を積極的に実施し、樹林地の生物多様性、安全性の確保に努めた。 ・今後も被害拡大防止に努めるとともに適正な管理に努めてもらいたい。	○	○	○	○	ナラ枯れ調査票					

評価項目					審査（評価）の視点 (C)	提案内容 (D)	指定期間 令和4年度の事業実績 (E)	所管課による課題分析等 (F)	事業実績の確認方法 (G)				
選定基準 大項目	選定基準中項目 (A)	小項目 (B)	配点	選定時の 評価点					実績報 告書	現地※	その他		
I サービスの向上	(3)	利用促進のための取組、利用者への対応、利用料金	利用促進の取組	10	9	公園の特性や利用状況(繁忙期・閑散期等)、新しい生活様式などの社会状況に応じて、多くの利用を図るために実施する事業の実施方針、内容等(有料施設は除く)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 里山の管理などを学び、体験する場である「やとやま学校」の開設等、里山を楽しむ体験プログラムの充実や、健康づくりなどのレクリエーションプログラムの充実、360度カメラを用いた疑似体験動画の配信等様々な方が多様な公園利用を通じてイキイキと暮らせるよう、利用促進の取組を展開する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プログラムの枠組み作り</li> <li>・落ち葉掻き&amp;焼き芋作り開催</li> <li>・体験プログラムを実施</li> <li>・案内マップの公民館等への配布・ウォーキングポスの解説版をパークセンターへの掲示・血圧計、体脂肪計の設置</li> <li>・認定に向けた関係団体との調整・座間市と実施に向けた打合せ</li> <li>・プログラム実施団体との連携・調整</li> <li>・散策マップ改訂版作成の資料収集、準備・公園HPへのリンク設置</li> <li>・疑似体験システム導入に向けた準備・案内システム導入に向けた準備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・提案された方針に基づき、適切に実施されている。</li> </ul>	○		○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・月例業務報告書</li> <li>・聞き取り</li> </ul>
						有料施設における利用者増及びサービス向上に資する事業の実施方針、内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 利用者の憩いの時間をサポートし、公園利用の満足感を高めていただくことや、水分の補給など、公園利用サービスの向上を図るため、利用の多いエリアを中心に自動販売機を設置する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北口トイレ側に2台設置</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も適切に設置されるよう望まれる。</li> </ul>	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・月例業務報告書</li> <li>・聞き取り</li> </ul>
						多くの利用を図るために行う広報・情報発信の工夫等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 本公園で行う様々なイベント情報、旬な自然情報の発信など、より多くの利用を図るための広報・PR活動を行う。特に、小田急電鉄とは連携協定を締結して、本公園を含む小田急沿線の公園や、周辺地域の魅力を発信するためのPRや広報などを連携・協力しながら行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>小田急電鉄と協定を締結し、本公園を含む小田急沿線の公園や周辺地域の魅力のPRや広報を実施した。ブログ、Twitter、Facebook等の情報発信の拡充</li> <li>・QRコードシステムの準備</li> <li>・翻訳機の導入については未実施</li> <li>展示やボランティア活動の紹介スペースとしての利用や活動の場を推進した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>翻訳機導入については、未実施となった。早期実施が望まれる。</li> </ul>	○			<ul style="list-style-type: none"> <li>・月例業務報告書</li> <li>・聞き取り</li> </ul>
						公園の特性をより効果的に活かすために行う自主事業の内容等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 利用者へのサービス向上を図るため、パークセンターや里山体験館において、園内の写真のポストカードや、樹林地の手入れ作業で発生した木材を活用したコースター等の販売を自主事業で行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・充実継続</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も継続されることを期待する。</li> </ul>	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・月例業務報告書</li> <li>・聞き取り</li> </ul>
						利用料金の設定、減免の考え方(有料施設がある場合のみ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自動販売機の料金は、民間も含めた類似施設や近隣施設を考慮したうえで、公の施設として相応の額を設定する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相応の額を設定した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も継続されることを期待する。</li> </ul>	○			<ul style="list-style-type: none"> <li>・月例業務報告書</li> <li>・聞き取り</li> </ul>
	(3)	利用促進のための取組、利用者への対応、利用料金	利用者対応・サービス向上の取組	5	4	接客や利用者との対話、公園利用ルールの利用者への助言、指導等の考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 子どもから高齢者、障がい者、外国人等、誰もが安心・安全・快適に公園を利用していただけるよう、スタッフ全員が、利用者との双方向コミュニケーションを重視したホスピタリティ溢れる接客に努める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・導入に向けた準備作業</li> <li>・開放的でフレンドリーな窓口への接遇の向上</li> <li>・各種マナー、ルールの周知</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・提案された考え方に基づき、適切に実施されている。</li> <li>・今後も、安心・安全・快適な公園利用のために継続されることを期待する。</li> </ul>	○		○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・月例業務報告書</li> <li>・聞き取り</li> </ul>
						サービス向上のために行う利用者ニーズ・苦情の把握及びその内容の事業等への反映の仕組み等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ すでに公園を利用している人のみならず、これから公園を利用する可能性のある潜在的利用者を含め、「①ニーズや苦情を的確に把握」「②分析」のうえ、「③運営を改善」することで、「④利用者満足度の向上、新規利用者の獲得」を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事例蓄積による活用と情報の共有化による利用者満足度向上と新規利用者の獲得</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も利用者のニーズをしっかりと把握し、サービス向上に努めてもらいたい。</li> </ul>	○		○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・月例業務報告書</li> <li>・聞き取り</li> </ul>
						外国人、障がい者、高齢者等誰もが円滑に施設利用するための、コミュニケーションにおける工夫及び必要に応じた支援の方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 外国の方への多言語での対応に努めるほか、「ともに生きる社会かながわ憲章」の趣旨を踏まえ、障がい者への合理的配慮、高齢者への配慮、子育て世代が安全・快適に利用できる環境を整え、ユニバーサルな対応を推進する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・HPを4カ国語に対応・外国人モニター導入に向けた準備・ピクトグラムの活用</li> <li>・自動翻訳機の導入については、未実施</li> <li>・点字の案内看板、パンフレットの自主財源での導入準備</li> <li>・コミュニケーションボード導入</li> <li>・筆談器導入</li> <li>・高齢者への利用環境の整備</li> <li>・パークセンターと里山体験館に授乳コーナーを設置</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な方々が様々な利用ができるような公園を目指して地域や関係団体と連携を着実に進めている。多くの方に親しまれ、喜ばれる公園になることを期待する。</li> <li>・自動翻訳機導入については、未実施となった。早期実施が望まれる。</li> <li>・誰もが安全・快適に利用できるよう努めてもらいたい。</li> </ul>	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・月例業務報告書</li> <li>・聞き取り</li> </ul>
	(4)	事故防止等安全管理	日常の事故防止、緊急時の対応	10	8	指定管理業務を行う際の公園の特性を踏まえた事故防止等の取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 日常の事故防止においては、危険木の増加による倒木や起伏のある谷戸の地形等のリスクに対し、不利益を最小限におさえる「リスクマネジメント」の考え方を取り入れ、リスク抽出、分析・対策立案、実行、再評価により、事故の未然防止を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日々の巡視によるリスク情報の共有化と早期対応</li> <li>・原則月1回協会本部での園館場長会議で実施</li> <li>・所内会議毎月1回実施、作業前ミーティング毎朝実施</li> <li>・座間市へ登録・表示、受入れ体制の整備</li> <li>・消防署指導の下消防訓練の実施</li> <li>・適宜マニュアル等の見直しを行い更新</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も緊急車両通行園路が限定される本公園の特性を踏まえ、消防署等との体制の整備に努めてもらいたい。</li> </ul>	○		○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・月例業務報告書</li> <li>・聞き取り</li> </ul>
						神奈川県手話言語条例への対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ コミュニケーションボードの活用や筆談や大きな声で対応する用意ができていないことを示す「耳マーク」をパークセンターに掲示するほか、利用者への手話の普及啓発に取り組む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修会への参加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・聴覚障がい者の方の安心安全な公園となるよう努めてもらいたい。</li> </ul>	○		○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・月例業務報告書</li> <li>・聞き取り</li> </ul>

評価項目					審査（評価）の視点 (C)	提案内容 (D)	指定期間 令和4年度の事業実績 (E)	所管課による課題分析等 (F)	事業実績の確認方法 (G)				
選定基準 大項目	選定基準中項目 (A)	小項目 (B)	配点	選定時の 評価点					実績報 告書	現地※	その他		
I サービスの向上	(4)	日常の事故防 止、緊急時の 対応	10	8	樹林地の過密化や巨木化等に起因する災 害を未然に防止する点検等の考え方	○ 樹木の巨木化等により危険木が増加している ことから、日常の巡視において、園路沿いや広場 付近など、利用者の安全確保が重要な箇所を中心 に、枯損木や枯れ枝の状況や病虫害の状況を確認 する。また、日々の巡視や状況に応じた迅速な安 全対策を徹底するとともに、台風シーズンの前 には、集中的な点検を行い、災害の未然防止に努め る。	・6月～7月に樹林地の枯れ枝、掛かり枝等の点検を 実施	・提案された考え方にに基づき、適切に実 施されている。 ・今後も、災害の未然防止に努められる よう点検の徹底に努めてもらいたい。	○	○	○	・月例業務報告書 ・聞き取り	
					事故・不祥事等の緊急事態が発生した場 合や安全管理の妨げとなりうる事案を認 知した際の対応方針（対応方針には、利 用者に外国人や障がい者、高齢者が含ま れていた場合を含む）	○ 事故・不祥事等の発生時には、人命を最優先 として「クライシスマネジメント」の考え方を取り 入れ、被害の最小化、二次被害防止、速やかな 報告・情報共有、復旧等事後対応、再発防止対策 まで確実な業務フローにより対応する。	・事故発生時にクライシスマネジメントに基づき適確に 対応 ・掲示物やHP、パンフレット等の表記に順次適用 ・パークセンターに車椅子牽引補助装置を配備	・提案された方針に基づき適切に実施さ れている。 ・緊急事態が発生した場合適切な対応が できるよう期待する。	○			・月例業務報告書 ・聞き取り	
					急病人等が生じた場合の対応 救急救命士等の配置、救命に関する職 員研修等	○ 園内で急病人やけが人が生じた場合には、 「安全管理マニュアル」に従い迅速に対応する。 職員が病人の状況を把握した上で、病院や消防に 連絡するほか、必要に応じて心肺蘇生やAEDの 利用などの応急措置を施す。	・該当職員の講習会受講と訓練の実施 ・資格取得へ向けた準備と取得	・提案書のとおり適切に実施されてい る。 ・今後も迅速な対応と応急措置を施すよ う努めてもらいたい。	○		○	・月例業務報告書 ・聞き取り	
					新型コロナウイルス等の感染症に対する 対応方針	○ 新型コロナへの対応については、「施設の管 理・運営における対策徹底による利用者の感染防 止」はもとより「利用者や周辺住民の理解促進」 「職員の感染防止」を感染防止対策の柱として、 感染防止の徹底を図りつつ、健康増進と憩いの場 としての公園の管理運営を行う。	・県の感染防止対策の指示の下対応 ・まん延防止対策の適確な実施と関係機関との連携	・提案された方針に基づき適切に実施さ れている。 ・今後も県からの指示、各機関と連携し つつ適切な公園運営に努めてもらいた い。	○		○	・月例業務報告書 ・聞き取り	
	災害への対応 (事前、発生 時)	5	4	異常気象（大雨、台風、熱中症アラート 等）への対応方針（事前、初動、発生 時、応急復旧時）	○ 大雨や洪水、台風などの風水害に対しては、 事前の備え、初動から発生時、解除後の応急復 旧・報告の各段階をタイムラインに沿って、迅速 かつ適切に対応する。	・指針に基づき適確に対応し、適宜見直し ・タイムラインに沿った具体的な対応 ・公園利用者への注意喚起、園内放送や屋内退避等の呼 びかけ ・熱中症応急セットの配備、空調作業服の導入	・提案された方針に基づき適切に実施さ れている。 ・今後も対応方針に沿った迅速な対応に 努めてもらいたい。	○		○	メール等		
				公園の「震災時対応の考え方」に示す初 動体制等への対応	○ 地震発生時には県が示す「震災時対応の考 え方」及び協会のタイムラインに沿って迅速かつ 確実な対応を行う。勤務時間外の参集にあたって は、本公園勤務の有無に関わらず、グループ構成 団体の公園近くに居住する職員が参集すること で、発生後30分以内を目標に、参集したスタッフ による初動対応を図る。	・タイムライン（防災行動計画）に沿った迅速な対応 ・配備し定期的な通信訓練の実施	・提案書のとおり適切に実施されてい る。 ・今後も初動体制の対応を徹底していく よう望まれる。	○		○	・月例業務報告書 ・聞き取り		
				大規模災害発生時の公園の特性、立地状 況等に応じた災害対応の考え方（地域と の連携、防災訓練、災害発生時の協力 等）	○ 災害時における座間市の広域避難場所に指定 されており、公園及び地域の防災力の強化を図る ため、日頃から利用者や近隣施設と協働で防災訓 練を実施するなどして 連携を深める。	・災害情報の受発信、災害対策マップの活用と更新、防 災資機材の点検と更新など、防災機能の確保を行った。 ・シェイクアウトプラスワン、緊急参集訓練の実施 ・業務継続計画（BCP）に基づく迅速、適確な業務復旧	・提案された考え方にに基づき適切に実施 されている。 ・今後も災害発生時に備え座間市などと 連携を深めるよう、日頃の訓練等の継続 が望まれる。	○		○	・月例業務報告書 ・聞き取り		
	(5)	地域と連携した魅力ある施設 づくり	地域との連携 体制、取組	5	4	多様な主体（地域人材、自治会、関係機 関）との連携、協力体制の構築等の取組 内容	○ 開園当時から本公園の管理運営を行う中で、 地域をはじめ多様な主体と一緒に公園を守り、育 て、魅力づくりに取り組んでおり、これからも、 公園の特性を考慮し、地域をはじめ多様な主体と 連携・協働しながら魅力ある公園づくりを進め る。	・年間10回の「県立座間谷戸山公園運営会議」で、利用 団体等との意見交換を行った。 ・「谷戸山公園まつり」、「共同イベント」を実施し た。 ・公園で収穫したもち米・野菜を地域の子ども食堂へ提 供した。 ・新たなボランティアの育成や公園で活動する多様な団 体等の発掘に向けて、調整している。	・これまで築かれている運営会議やボラ ンティア団体との連携は継続され、より よい公園づくりにつながっている。今後 も多様な主体との連携協力体制による会 議、イベントを通して魅力ある公園づく りに努めてもらいたい。 ・また、これらの取組を通じて、子ども などにも公園の管理運営活動に興味を 持つてもらえるきっかけになることを期 待する。	○	○	○	・月例業務報告書 ・聞き取り
						ボランティア団体等の育成・連携、協働 の取組内容	○ 樹林地管理に協力いただいているボラン ティアの活動を今後ともしっかりと支援していくた め、維持管理に必要な資機材の提供や樹木管理の 技術指導に加え、専門家による研修や他事例の見 学など充実を図る。	・「里山保全隊」の充実継続	・今後も樹林地管理による魅力ある施設 づくりに努めてもらいたい。	○		○	・月例業務報告書 ・聞き取り
						周辺施設（他の公園・施設等）との交 流・連携の内容	○ 近隣にある図書館、公民館、文化センター と、自然や施設を利用したイベントや講座開催に あつての連携、協力を行う。また、観光協会な どとの連携による広場等を活用したイベント開催 への協力を行う。	・「花とみどりのフォトコンテスト」、市の公園との連 携したイベントの開催等	・近隣にある多様な施設との連携による 魅力ある施設づくりに努めてもらいた い。	○		○	・月例業務報告書 ・聞き取り
						地元企業への業務委託等による迅速かつ きめ細かいサービスの提供に向けた取組 内容	○ 業務委託を行う場合には、地域企業等への発 注を優先的に行っていくとともに、地域雇用の確 保、社会的ニーズへの対応といった観点から、シ ルバー人材センター等の地元非営利団体への業務 委託することで地域連携を図る。	・委託業務の充実継続	・提案書のとおり適切に実施されてい る。 ・地域企業への業務委託により、地域連 携が図られることを期待する。	○		○	・月例業務報告書 ・聞き取り

評価項目					審査（評価）の視点 (C)	提案内容 (D)	指定期間 令和4年度の事業実績 (E)	所管課による課題分析等 (F)	事業実績の確認方法 (G)				
選定基準 大項目	選定基準中項目 (A)	小項目 (B)	配点	選定時の 評価点					実績報 告書	現地※	その他		
Ⅲ 団体の 業務遂 行能力	(6)	コンプライアンス、社会貢献	コンプライア ンス、社会貢 献	5	4	指定管理業務を実施するために必要な団体等の企業倫理・諸規程の整備、施設設備の維持管理に関する法規や労働関係法規などの法令遵守の徹底に向けた取組の状況（労働条件審査の実施予定など施設職員に係る労働条件の確認の有無を含む）	○ 諸規定類を整備し、法令遵守の徹底に取り組むとともに、施設設備の維持管理に関する法規についても、研修や講習会の受講、資格取得等を通じて理解を深め、安全な公園管理運営を図る。 ○ 労働基準法等の労働関係法規に基づき、就業に関する規程を整備しており、これらを適切に運用し安全で快適な労働環境を確保する。	・ 諸規定の整備と運用	・ 業務の基準及び提案書のとおり適切に運営している。 ・ 今後も法令遵守し適切な管理に努めてもらいたい。	○		○	・ 月例業務報告書 ・ 聞き取り
						指定管理業務を行う際の環境への配慮の状況	○ SDGs では、経済、社会、環境の三側面の調和が重要とされており、この認識も踏まえて環境分野の目標達成に向けて取り組む。	・ 伐木材を丸太ベンチや木道の補修材等で活用・太陽光発電を活用した充電式工具への充電等 ・ 草地、湿地に環境に応じた維持管理、メリケントキンソウやアライグマ等外来種の駆除、植物のモニタリング調査等を実施した。	・ 提案書のとおり適切に運営している。 ・ 目標達成に向けて取り組むよう努めてもらいたい。	○		○	・ 月例業務報告書 ・ 聞き取り
						法定雇用率の達成状況等、障害者雇用促進の考え方と実績	○ 障害者雇用状況については法定雇用率を達成している。	・ 法定雇用人数を充足している	・ 提案された考え方にに基づき適切に運営している。 ・ 今後も障がい者雇用に努めてもらいたい。	○			・ 月例業務報告書 ・ 聞き取り
						障害者差別解消法に基づく合理的配慮など、「ともに生きる社会かながわ憲章」の主旨を踏まえた取組	○ 障害者差別解消法及び「ともに生きる社会かながわ憲章」の制定主旨を踏まえ、合理的配慮の提供や広報啓発・研修等に取り組んでいる。	・ 職場内研修や障害者理解促進研修の実施 ・ 車いすの貸し出し等物理的配慮 ・ 障がいの状況に応じた丁寧な対応 ・ 公園利用者等への普及啓発	・ 提案書のとおり適切に運営している。 ・ 「ともに生きる社会かながわ憲章」の制定主旨を踏まえ取組に努めてもらいたい。	○		○	・ 月例業務報告書 ・ 聞き取り
						神奈川県手話言語条例への対応	○ 聴覚障がい者の方の安心安全な公園の利用環境を確保するために、意思疎通、情報取得のための重要な手段である手話を使いやすい環境づくりに努める。	・ 職員への教育、研修の実施・コミュニケーションツールの設置等	・ 提案書のとおり適切に運営している。 ・ 聴覚障がい者の方の安心安全な公園となるよう努めてもらいたい。	○		○	・ 月例業務報告書 ・ 聞き取り
						社会貢献活動等、CSRの考え方と実績、SDGs（持続可能な開発目標）への取組	・ 計画に基づく生物多様性保全と災害への備え ・ 園内の歴史・自然について、様々な利用者層を対象とした講習会や観察会（さとやま学校）、イベント等のプログラムで専門知識をもつスタッフが学びの場を提供 ・ 発生材のベンチ等への活用 ・ コミュニケーションボードの活用、簡易授乳施設の整備、車イスの貸出し、自動翻訳機の活用など ・ 生産物（もち米、野菜など）のフードバンクを通じて地域の「子ども食堂」へ提供 ・ ボランティアと連携した里山保全・イベント等の開催による公園づくり ・ ノルディックウォーキング等で誰でも手軽な運動ができるプログラムを提供	・ 「わき水の谷」水辺環境の復元や外来種の駆除等による生物多様性の保全と、防災資機材の点検と更新など防災機能の確保を実施した。 ・ 自然観察会を毎月、ネイチャーゲームを四季ごとに実施した。 ・ パークセンターと里山体験館に授乳コーナーを設置 ・ 里山保全隊による樹林地整備や外来種駆除活動等を行った。 ・ 地域雇用、観光協会との連携、地域活性化イベント等による経済の地域循環 ・ 公園緑地に関する大学等の研究、教育の場の提供、幼稚園や学校等の校外学習活動への協力 ・ 企業等のCSR活動支援 ・ SDGs積立資産を活用した桜の更新やユニバーサルサービスの順次実施 ・ 各ゴール達成に向けた取組の実施	・ 提案書のとおり適切に運営している。 ・ 引き続き、環境保全活動や健康づくりに資するイベント等の取組を期待する。	○	○	○	・ 月例業務報告書 ・ 聞き取り
	(7)	事故・不祥事への対応、個人情報保護	事故・不祥事への対応、個人情報保護	5	4	募集開始の日から起算して過去3年間の重大な事故または不祥事の有無ならびに重大な事故等があった場合の対応状況及び再発防止策構築状況	○ 過去3年間の重大な事故・不祥事はない。	・ 当該年度に重大な事故、不祥事はなく、適切に業務を遂行している。	・ 提案書のとおり適切に運営している。	○		○	・ 月例業務報告書 ・ 聞き取り
個人情報保護についての方針・体制、職員に対する教育・研修体制及び個人情報の取扱いの状況						○ 公園利用者からの信頼を得るためには、利用者等の個人情報を適切に管理することが必要不可欠であるとの認識のもと、「個人情報保護方針」を公表し、諸規程の整備や職員に対する研修の実施により、個人情報の適正な保護に取り組む。	・ 個人情報保護のための組織体制の構築 ・ 個人情報保護のための諸規程の整備 ・ 新規職員研修の実施 ・ 実務担当者研修の実施 ・ 所属長会議及び事故・不祥事防止会議の実施 ・ 必要に応じて外部研修を受講 ・ ウイルス感染や不正アクセス等に備えた「対応マニュアル」や体制整備による電子データの取扱いに関するセキュリティ強化 ・ 「ソーシャルメディアの利用に関するガイドライン」に基づく個人情報の適切な取扱い	・ 提案書のとおり適切に運営している。	○		○	・ 月例業務報告書 ・ 聞き取り	

※「事業実績の確認方法(G)」欄のうちの「現地」の欄は、「指定期間 令和4年度の事業実績(E)」欄の実績を現地で確認したことを示すもの。

選定基準別提案内容と事業実績の確認  
(施設写真)

施設名	座間谷戸山公園
指定管理者名	公益財団法人神奈川県公園協会
指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日
施設所管課	都市公園課（厚木土木事務所 東部センター）

※施設の概要が分かる写真を3～4枚程度掲載



パークセンター前の「花植え」



クヌギコナラ観察林の「森の教室」



里山公園まつり風景



里山体験館